

第3次にしもろ定住自立圏共生ビジョン(素案)に係るパブリックコメントに係る回答について

- 1 意見者 えびの市在住の方(1名の方から4件のご意見をいただきました)
- 2 日付 3月19日(日)
- 3 方法 メール
- 4 回答団体 えびの市
- 5 各意見への回答案

	項目	内容	回答
意見①	高速バス「宮崎～鹿児島線」の運行再開	この路線は令和3年4月1日より路線休止になったままの状態が続いています。にしもろ地区の人たちにとっては重要な路線なので、早期の運行開始を実現するよう取り組んでいただきたい。	高速バス「宮崎～鹿児島線」の運行再開については、これまでも小林市、えびの市、高原町を含めた関係自治体で運行の再開や代替措置の実施について運行会社に要望を行ってまいりました。本ビジョンにおいて当該事項の記載はありませんが、引き続き、関係自治体と協力の上、対応してまいります。
意見②	西諸圏内で分娩できる医療体制の確立	令和3年11月から小林市立病院での分娩が休止しており、早期の改善が必要です。	西諸圏内で分娩できる医療体制の確立については、その他の多くの診療科と同様に医療従事者の確保が喫緊の課題であることから、圏域市町及び西諸医師会等の関係機関と連携し、医師確保等の医療体制の強化に重点的に取り組んでまいります。第3章の3「圏域の課題と対応策(取組の方向性)」(P16)及び第4章の2「具体的な取組内容」(P27～28)をご参照ください。
意見③	自殺対策の強化	「自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)」が県内で最多を継続中であり、対策の強化が必要です。	小林保健所管内の自殺死亡率は、平成26年、27年を除いて県内でもトップの自殺死亡率であり、平成30年度には、いったん減少したものの令和元年からは再び増加傾向にあります。対策の強化については、昨今の社会的不安の影響も考えられることから、更に効果を上げるべく、圏域市町で啓発等の連携を強化するとともに、対策の充実策を検討してまいります。第3章の3「圏域の課題と対応策(取組の方向性)」(P16)及び第4章の2「具体的な取組内容」(P29～30)をご参照ください。
意見④	企業誘致の推進	えびの市の産業団地にまだ空きがあります。誘致企業で働く人には小林市や高原町にお住いの人も考えられるので、西諸3市町が協力して企業誘致に取り組んでいただきたい。	企業誘致の推進については、これまでも圏域市町で連携して、各種イベントへの合同での参加や誘致活動を行ってきたところではありますが、引き続きこれらの取組を推進するとともに、働き手の創出のため、雇用の場の周知等に取り組んでまいります。第3章の3「圏域の課題と対応策(取組の方向性)」(P19～20)及び第4章の2「具体的な取組内容」(P43～44)をご参照ください。